

令和元年度 学校評価報告書

【評価】 A:十分達成できた B:概ね達成できた C:やや不十分であった D:全く不十分であった

島根県立飯南高等学校

重点目標	評価計画		自己評価		学校関係者評価		次年度への改善策・取組の方向性
	具体的目標	R元 重点的な取り組み事項	R元 評価指標	評価	取り組み状況(○)と 課題(*)	評価	
(1) 主体的に学ぶ生徒の育成	① 主体的・対話的で深い学びによる授業改善	・教科会、教科主任会 ・授業互見、研修(校内、他校、異校種等)	・授業見学の回数、見学後の感想 ・生徒による授業評価 ・校外研修等への参加状況	C	○公開旬間では、教科の枠を超えた相互の授業参観を積極的に行うことができた。 ○授業評価を複数回実施し、授業改善に努めた。 * 学習習慣の確立、学習意欲の高揚を図るための指導	B	・小規模校ではあるが、全国各地から多くの生徒が入学し、多くの価値観を与えてくれている。都市部の学校と比較して勉強面等においてもしっかりと対応していただいている。 ・生徒の本離れを感じている。授業において、タブレット等の利用だけではなく、図書館の本を利用した授業展開も工夫してほしい。
	② 飯南型キャリア教育「生命地域学」の充実	・ねらいを明確にした「生命地域学」の実践 ・主体性、発信力を重視した課題研究 ・キャリア教育の体系化、視覚化	・生徒、教職員のアンケート結果 ・講師、協力機関からの評価・感想	A	○「生命地域学」の各取組は、地域や関係諸機関の支援も得て一層充実させることができた。 * 生命地域ラボの活性化		
	③ 図書館を活用した学びの促進	・資料整備、広報、委員会活動の工夫 ・図書資料や新聞を活用した探究学習 ・朝読書	・図書館の活用状況、便りの発行回数 ・委員会活動の回数と評価 ・生徒、教職員アンケート結果	C	○図書資料や新聞を活用した探究学習等、図書館を利用した授業が増加した。 * 朝読書の実施方法等の検討		
(2) 進路希望の実現	① 主体的に進路選択できる生徒の育成	・進路学習等とおしての早期の意識醸成 ・面談、個別指導 ・企業見学、学校見学、ジョブフェア	・学習時間調査の結果(推移) ・進路決定等の状況 ・生徒、保護者アンケート結果	A	○面談や進路学習等で意識づけを図った。 ○職業・資格調べ、専門学校体験授業・島根大学訪問等の取組に手応えがあった。 * 生徒自身による活動記録蓄積に向けた支援	A	・進路指導について、先生方が一人ひとりの進路について丁寧に対応してくれている。 ・他校に進学しても、飯南高校に進学しても挫折することはある。つまづいた時のフォローは大切である。 ・高校を卒業後、進学先や就職先で適応できない生徒も多い傾向にある。専門機関やスクールカウンセラーを活用してもらえればと思う。
	② 生徒や保護者への適切な情報提供	・進路指導部と学年会との連携 ・保護者面談等とおしてのニーズリサーチ ・HPや学校だよりを利用した情報提供	・保護者アンケート結果 ・面談等での保護者の感想、評価	A	○面談や進路講演会等で適宜情報提供を行った。 ○学校だよりやHPで取組状況の発信に努めた。 * 新たな入試制度に対する情報収集		
	③ 地域貢献しようとする生徒の育成	・インターンシップ、体験学習、課題研究 ・飯南ジョブフェアの拡充 ・生命地域ラボ、地域交流の促進	・活動実績 ・活動後の生徒や関係者の感想、評価	A	○インターンシップや課題研究の活動を通して、地域の良さを再発見し地域貢献への意識を高めることができた。 ○飯南ジョブフェアに中学生も参加してもらうなど実施方法の改善を図った。 * 交流活動参加の生徒の拡大 * 生命地域ラボの活性化		
(3) 望ましい人間関係づくり	① 互いの人権を尊重する学校づくり	・いじめ防止と組織的な対応 ・早期の情報モラル教育	・HR活動や講演会後の感想、評価 ・人権だよりの回数と評価 ・生徒、保護者、教職員アンケート結果	B	○人権だよりの発行やLHRでの学習等により人権意識の高揚を図った。 * 人権意識の定着と問題の未然防止	B	・登校路等での挨拶は大変立派であるが、単なる儀礼的なものではなく、なぜ挨拶をするのかという本質的な意味を感じて行えるとなおよいと思う。 ・はやしこ等の行事に参加してもらえ、よいことと感じている。多くの生徒に参加してほしい。 ・防災避難訓練だけでなく、救命救急講習等にも一層取り組んでほしい。
	② 支援を要する生徒への組織的対応	・学年会、委員会での情報共有 ・保護者、SC、諸機関との連携 ・校内研修実施、校外研修への参加促進	・生徒、保護者、教職員アンケート結果 ・研修後の感想、評価	A	○教職員間における連携を密にするとともに、ケース会議の開催による情報共有を図った。 ○保護者や外部機関との連携に努めた。 * 校外での研修推進		
	③ 部活動・生徒会活動・特別活動の活性化	・生徒の主体的な活動の推進 ・HPや学校だより、CATVによる情報発信 ・地域や保小中、諸機関との連携	・部活動加入状況 ・生徒、保護者アンケート結果 ・地域等からの評価、感想	A	○照明施設や屋外トイレ等、部活動支援に繋がる環境整備を行った。 ○あいさつ運動等、生徒会活動が活性化するように支援に努めた。 * 特別教室、衛生設備の整備		
(4) 中高一貫教育の充実	① 教科指導連携の充実	・打ち合わせ時間の確保 ・共通認識をもった授業実践	・打ち合わせの実施回数、感想 ・中高一貫教育アンケート結果	A	○定期的な打ち合わせの機会確保により充実した連携を行うことができた。 * 各教科の特色を活かした交流の工夫	A	・中高一貫教育連携中学校に対しては高校入学者選抜において学力検査がないため、試験のプレッシャーがないまま過ごしがちな。合格内定通知後に配布される課題プリント等は、学習に向かう姿勢が養われて有効である。 ・中高が連携し、生命地域教育を充実させる。 ・中高が協働して行うボランティア活動など、特色のある教育活動で相互交流を深める。
	② キャリア教育の系統化	・各段階での目的、運動性、実践内容の明示 ・飯南型キャリア教育全体図の作成 ・保小中との取組内容の共有	・中高一貫教育アンケート結果 ・連絡会議、推進会議での意見	A	○「飯南町キャリア・パスポート」の作成により、飯南型キャリア教育の体系化に努めた。 ○「生命地域学」の充実を図ることができた。 * 行事、企画の精選とねらいの明確化		
	③ 情報の分析・共有と指導	・交流授業、教科会、連携会議 ・授業互見、行事参加の促進	・中高一貫教育アンケート結果 ・連絡会議、推進会議での意見	A	○R54ボランティア活動等、行事内容の改善に努めることができた。 ○三校合同職員会議における協議内容・方法の改善に努め、充実した情報交換ができた。 * 積極的な授業互見の実施		
(5) 教育の魅力化事業の推進による期待される学校づくり	① 支援組織や保小中高大・保護者・地域との連携強化	・PTA、後援会、鵬雲会との連携 ・ホストファミリーとの交流促進 ・生命地域ラボの促進と情報発信	・連携事業の実施状況 ・ホストファミリーとの交流実績、感想 ・活動状況の発信回数と感想	A	○PTAや鵬雲会・地域と連携して鵬雲祭や環境整備活動等を実施した。 ○ホストファミリー制度を活用することで、生徒と地域との交流機会が増えた。 * 生命地域ラボの活性化	B	・高校生が飯南町に誇りをもてるよう、まず大人が飯南町の歴史等をよく知ることを通して町に誇りをもつことが必要であると思う。 ・挨拶、掃除など本校のよき伝統を受け継いでいけるよう、引き続き生徒・教職員一体となって取組む。 ・生徒主体の寮の秩序づくりと寮内の環境美化に努める。 ・寮だよりの発行や学校ホームページを利用し、保護者や地域に向けた情報発信に努める。
	② PR活動の充実	・在校生による『学校案内』や学校説明 ・HP、学校だよりによる迅速な広報 ・CATVや有線による地元への情報発信	・生徒、保護者アンケート結果 ・学校説明会参加者の評価 ・HPの更新状況	A	○魅力化コーディネーターと連携・協働し、生徒目線のPR活動ができた。 ○学校だよりやHP更新により、校内外に対して迅速かつわかりやすい情報発信に努めた。 ○CATVと連携した情報番組が好評を得た。 * FB運用方法の検討。		
	③ 魅力的な寮づくり	・保護者・教職員・寮職員の連携 ・ホストファミリー制度による地域交流 ・生徒主体の秩序づくり、美化徹底	・寮生アンケート、寮生保護者の意見 ・教職員、寮関係職員の評価 ・委員会の活動状況	B	○寮だよりのほか、学校からの連絡文書を毎月郵送し、保護者に対する情報発信に努めた。 ○ホストファミリーと連携し、寮生がはやしこ等の地域行事に多く参加することができた。 * 生徒主体の秩序づくりと環境美化の徹底		